

朝来市総合計画審議会 第3回 会議録

- 開催日時 日時 令和7年4月21日（月）13:00～16:00
- 開催場所 朝来市役所4階 401・402 会議室

- 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委 員	岡 田 絵 美	篠 岡 昌 代
	絹 卷 泉	
	草 郷 孝 好	
	小 島 公 明	
	篠 原 佳 也	
	下 口 光 子	
	中 島 し の ぶ	
	中 島 英 樹	
	中 西 光 彦	
	西 垣 佳 生	
	西 村 順 二	
	羽 渕 真 奈	
	藤 原 真 紀	
	村 上 和 男	
	山 下 太 一	
	吉 原 剛 史	
事務局 (企画総務部 総合政策課)	企画総務部次長 世 木 敬 史	
	課長兼政策係長 和 田 幸 司	
	副課長兼DX推進係長 小 山 修 平	
	課長補佐兼創生企画係長 藤 本 晋 也	
	上席主査 小 山 亮 介	
	主任 稲 田 将 太 朗	
	主事 岡 坂 拓 実	
	主事 鴻 村 李	

- 傍聴者 なし
- 会議

1 開会

定刻になりましたので、第3回朝来市総合計画審議会を開催します。

2 あいさつ

草郷会長

皆様、こんにちは。

本日は、朝来市総合計画後期基本計画策定のための第3回目の審議会となります。毎月一度の開催を重ねてまいりましたが、本日はこれまでも特に重要な会議と位置づけております。

これまで、皆様からいただいた貴重なご意見やアイデアを計画に反映させてまいりましたが、今後さらに内容を磨き上げていく段階に入っております。

どうかこれまで以上に自由な発想で、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

3 報告確認事項

事務局 <資料1、資料2、資料3>

これまでの協議経過と今後のスケジュールについて説明。

市民協働の必要性、若者に焦点をあてた重点政策について説明。

4 審議

(1) 審議①総合計画改訂の考え方について（グループ対話）

①総合計画改訂の考え方 <資料4、資料5、資料6、参考資料2>

総合計画改訂の考え方について説明。

②グループ対話

総合計画改訂の考え方について対話を行う。

③全体共有

各グループから対話の内容について発表。対話の内容は、別紙の通り。

④総括

西村副会長

非常に興味深いご意見を多くいただきました。人口減少は避けられないという現実を踏まえた上で、若い世代や子どもたちに焦点を当てていくことが朝来市の強みとなると思います。

今、小学生の子どもたちは4年後には中高生となり、20代の若者や60代の方々も、それぞれ違う時間感覚や環境の中で生きています。それぞれの世代で価値観やニーズが異なるからこそ、アクションプランへと落とし込んでいく際には、丁寧に、世代ごとの背景に目配りすることが求められるのだと感じました。特に若い世代の感性や価値観には、自己表現や仲間意識を大切にする傾向があります。

また、小学生がSDGsを学び始めているということからも、価値観が育つプロセスが世代ごとに違うことをあらためて認識しています。

成果指標の設定についても、部分最適ではなく全体最適を目指すという視点が重要です。「長く住み続けられるまち」をどう実現していくかという問いは、若い世代や子どもたちへの視点抜きには語れません。若い世代との対話の場を、朝来市ならではの強みとして、今後も継続的に育てていくことが重要だと感じました。

草郷会長

朝来として何を大事にしていくのかということについて、皆さんからいろんな意見をいただきました。国の方針をそのままなぞるのではなく、それを朝来の言葉に置き換えていく必要があります。計画の柱をつくるときには、「朝来らしさ」をきちんと込めていくことが重要だと改めて感じました。女性や災害といったテーマも、朝来にとっての課題としてちゃんと考えていく必要があると思います。こういう身近なテーマを、自分たちの言葉で表現していくことが、これからの計画につながっていくと思います。今日の話を受けて、もしあとでもう一度読み返して気になる内容やよりよい表現などあれば、ぜひ教えていただければ幸いです。皆さんの言葉でつくる朝来の計画が、これからもっと深まっていくのを楽しみに思います。

(2) 審議⑫ 施策の基本計画たたき台について（グループ対話）

①全体の進め方・流れの説明 <資料7>

グループ対話の全体の進め方、流れについて説明を行った。

②グループ対話

各グループ3施策の基本計画たたき台について各担当課より説明があったのち、グループで対話を行う。

③全体共有

各グループから対話の内容について発表。対話の内容は、別紙の通り。

④総括

草郷会長

今日は、担当課と直接意見を交わせるという、なかなかない貴重な機会だったと思います。自由に、しかも責任を感じすぎずに意見を出し合える雰囲気は、まさに朝来らしさだなと感じました。皆さんからは、実際の暮らしの実感に根ざした意見がたくさん出ていて、それがとても価値あることだったと思います。

一方で、どうしても時間が限られていたこともあり、まだまだ議論しきれなかった部分もあるかと思います。今後も残りの施策について引き続き審議をお願いすることになりますが、総合計画の冊子にある「施策間の関連性」についても少し意識して見ていただけたら嬉しいです。施策番号のつながりなどもヒントになると思いま

すので、いろいろな視点からご意見を聞かせていただければと思います。

5 その他

次回の会議開催日程を連絡。

- ・第3回あさご未来会議 令和7年4月29日（火・祝）
- ・第4回朝来市総合計画審議会 令和7年5月21日（水）

6 閉会

草郷会長

皆様大変お疲れさまでした。本日は時間の都合上、全ての施策について十分に議論することが叶いませんでしたが、今後の検討にあたっては、本日議論していない残りの9施策につきましても、ぜひ皆様からのご意見をお寄せいただければと存じます。特に、ご自身の関心のある分野や、ご経験・ご専門を活かせる項目につきまして、率直なご意見をお聞かせいただければ幸いです。皆様からのご意見やアイデアが、今後の計画において非常に重要となります。追加のご意見がございましたら、4月25日（金）正午までにご提出いただきますようお願いいたします。頂戴したご意見につきましては、次回の審議会にてフィードバックさせていただく予定です。今後とも、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。